

# モニタリングサイト1000 ガンカモ調査交流会 東京湾のガンカモ、いまむかし

谷津干潟自然観察センター(千葉県習志野市) 2011年2月27日(日曜日)

環境省が実施しているモニタリングサイト1000・ガンカモ類調査の交流会を谷津干潟で開催します。東京湾のカモの話  
題や、気軽に参加できるカモ調査の紹介をさせていただきます。どなたでも参加していただけますので、カモにご興味のある  
皆さまのお越しをお待ちしています。

**日時:** 2011年2月27日(日) ガンカモ交流会 13:30~16:30

**会場:** 谷津干潟自然観察センター(千葉県習志野市)

**主催:** 環境省生物多様性センター、NPO法人バードリサーチ  
谷津干潟自然観察センター指定管理者(社)アーバンネイチャーマネジメントサービス

**参加費:** ガンカモ交流会は無料ですが観察センターへの入館料がかかります(高校生以上360円、65歳以上180円)

終了後(17:00~19:00ごろ)に観察センター内で懇親会を開きます。参加ご希望の方は事前にお知らせ下さい。  
参加費は2000円程度を予定しています。

懇親会お申し込み先: バードリサーチ (電子メール)gankamo@bird-research.jp / (FAX)042-401-8661

## プログラム

- ・**モニタリングサイト1000ガンカモ類調査 神山和夫(バードリサーチ)**  
全国の湖沼でガンカモ・ハクチョウ類のモニタリング調査を続けています。  
調査の内容や、これまでに分かってきたことについてご紹介します。
- ・**東京湾にガンがいた頃ー新浜の事例 塚本洋三(バードフォト・アーカイブズ)**  
昔、宮内庁の千葉県新浜御猟場一帯は水鳥の宝庫で、ガンカモ類が多数渡来していました。演者が中学生の頃にも  
まだマガンの数百の群れがいたのです。今日では想像もつかない頃のガンカモの状況を、当時の貴重な写真を  
使ってご覧に入れます。
- ・**カルガモの人工浮き巣 榎本茂(海塾)**  
大企業がひしめく都会の水辺に潤いを与えるため、東京都港区の芝浦アイランドにカルガモの営巣場所を作り、抱  
卵から子育てまでを観察しようというプロジェクトが始まったのは2007年のことです。現在まで3期連続で人工巣から数  
多くのヒナが育っていきました。生まれてすぐに自ら餌をとり生きなければいけないヒナ、危機が迫ると自ら盾になって  
子を守る親。身近な自然の中で生きるカルガモの観察を通じ、住民が親子のきずなについて深く考える機会を得るこ  
とができました。
- ・**東京湾におけるスズガモのカウントについて 箕輪義隆(千葉市野鳥の会)**  
東京都から千葉県にかけての東京湾岸に数万羽が越冬しているスズガモの調査方法についてご紹介します。鳥類  
の個体数調査には計数器を用いますが、数千羽を超えるスズガモを数えるのは容易な作業ではなく、条件が悪い時  
には概数で記録することもあります。調査範囲を分割して数える場合、ダブルカウントにならないように調査地点の可  
視範囲を十分把握しておく必要があります。また、人為的攪乱等の影響を極力避けることも、調査を行う上で重要と  
考えられます。
- ・**谷津干潟と東京港野鳥公園のカモたち (講演者未定)**  
谷津干潟と東京港野鳥公園のカモたちの見どころについて紹介していただきます。
- ・**身近なガンカモ調査の報告 本山裕樹(バードリサーチ)**  
秋に渡ってきて春に去っていくまでガンカモ類の種類や数がどのように変化していくのかを、身近な場所でガンカモ  
類を数えることで明らかにしようという調査です。小さな池や川で毎月1回以上のカウント記録を送っていただく簡単な  
調査で、62カ所の調査地でボランティアの皆さんに協力していただいています。この調査で分かったカモ類の季節変  
化についてご紹介します。
- ・**カモ類についての意見交換**